**第５８回（令和２年度）北海道優良米生産出荷共励会　推薦調書**

**「移植栽培部門」生産グループの部**　　　　部

　推　　薦　　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　調書の内容は誤りのないことを確認した

　　　　　　　　振興局　　農業改良普及センター　　　　所長　　　　　　　　　　　　　　印

　　検査（出荷）実績を証明する

　　　　　　　　　　　　　　農産物検査員　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　（ふりがな）

１　対 象 者　　　　生産グループの名称

　　　　　　　　　　（ふりがな）

　　　　　　　　　　代表者氏名・住所

２　経営状況　　　　　　耕地面積　　　　　　　　　ha　　（注）　田・畑などの合計面積

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　次　項　目 | 平成３０年 | 令和元年 | 令和２年 | ３カ年の平均 |
| 水稲作付面積 | hａ（　　　　） | hａ（　　　　 ） | hａ（　　　　） | hａ（　　　　） |

　　　（構成する生産者の合計面積を記入）

注）加工用米、新規需要米、政府備蓄米を除く作付面積。　（　）内はこれらを含む作付面積。

３　構成生産者の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成３０年 | 令和元年 | 令和２年 |
| 戸数 |  |  |  |
| 　　　従事者数 |  |  |  |
|  |

４　耕種概要

　(１) 作付品種と栽培法（構成する生産者の合計値を記入）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　次　項　目 | 平成３０年 | 令和元年 | 令和２年 | 「大地の星」など低蛋白米生産を目的としない品種や直播栽培等も記入する。しかし（２）以下の技術内容および５の産米出荷成績からは除く。 |
| 作付面積 | 品種名 |  | hａ | hａ | hａ |
|  | hａ | hａ | hａ |
|  | hａ | hａ | hａ |
|  | hａ | hａ | hａ |
| 　　　　　  | hａ | hａ | hａ |
|  | hａ | hａ | hａ |
|  | 合　計 |  | ha | ha | ha |
| うち直播面積 | 品種名 |  | 　　　 ha |  ha  |  ha |

　　　注）加工用米、新規需要米、政府備蓄米を除く作付面積。

　(２) 堆厩肥等の有機物施用と透排水性改善

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年　次　項　目 | 平成３０年 | 令和元年 | 令和２年 |
| 堆厩肥施用量kg/10ａ | kg | kg | kg |  |
| 稲わらの処理法 | 前年産 | 春鋤込 | ％ | ％ | ％ |
| 当年産 | 搬　出 | ％ | ％ | ％ |
| 秋鋤込 | ％ | ％ | ％ |
| 土壌改良材kg/10ａ | 資材名 |  |  |  |
| 施用量 | kg | kg | kg |
| 透排水性改善 |  |  |  |
| 　（備考） |

　　　注）「稲わらの処理法」の欄の％は、水稲作付面積に対する割合。

　　　　　　土壌改良材については、具体的製品名を書く。

　　　　　堆厩肥施用量・土壌改良材施用量については当該グループの代表事例を記入。

　(３)移植時期と栽植密度（移植時期・栽植密度については当該グループの代表事例を記入）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　次 項　目 | 平成３０年 | 令和元年 | 令和２年 |  |
| 育苗形式名 |  |  |  |
| 移植時期 | 月　日～月　日 | 月　　日～　月　日 | 月　日～　月　日 |
| 栽植密度 | 畦幅 × 株間 | ｃｍ×　　ｃｍ | ｃｍ×　　ｃｍ | ｃｍ×　　ｃｍ |
| ㎡当たり株数 | 株／㎡ | 株／㎡ | 株／㎡ |
| （備考） |

　(４)施肥

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　次 項　目 | 平成３０年 | 令和元年 | 令和２年 |  |
| Ｎ | Ｐ | Ｋ | Ｎ | Ｐ | Ｋ | Ｎ | Ｐ | Ｋ |  |  |
| 施　　肥(kg/10ａ) | 全　　層 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 表　　層 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 側　　条 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 追 肥 | kg/10ａ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 期　　日 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　　　　施肥量については当該グループの代表事例を記入

　(５)収穫乾燥方式　（構成生産者の取組比率を記入）

　　　・　連続乾燥（　年～　　年）　【　　　％】

　　　・　一時乾燥→貯留→仕上げ乾燥（　　年～　　年）【　　　％】

　　　・　遠赤外線乾燥（　年～　年）【　　　％】

　　　・　除湿乾燥（　年～　　年）　【　　　％】

５．産米出荷成績（構成する生産者の合計値を記入）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　次　項　目 | 平成３０年 | 令和元年 | 令和２年 | 3ヵ年の合計 |  |
| 総 　 出 　 荷 　 数 　 量 　① 注)1 | 俵 | 俵 | 俵 | 俵 |
| 一 　 等 　 米 　 数 　 量 　② 注)1 | 俵 | 俵 | 俵 | 俵 |  |
| 一 　 等 　 米 　 比 　 率 ②／① | ％ | ％ | ％ | ％ |
| 内 高品質米 | 精米ﾀﾝﾊﾟｸ質含有率6.8%以下仕分対象品種出荷数量  | 俵 | 俵 | 俵 | 俵 |
| 精米ﾀﾝﾊﾟｸ質含有率6.8%以下 注)3 | 俵 | 俵 | 俵 | 俵 |
| 精米ﾀﾝﾊﾟｸ質含有率6.8%以下出荷率 | ％ | ％ | ％ | ％ |

　　注) 1 ①・②は「大地の星」、直播栽培など低蛋白米出荷目的でないもの、加工用米及び規格外米、新規需要

　　　　 米・政府備蓄米を除く出荷数量、一等米比率。ただし酒造好適米は「特等」以上を一等米扱いとする。

2 俵数は60kgに換算のこと。

3 高品質米出荷数量は、仕分基準に基づく実績数量とする。ただし、「ゆめぴりか」は精米タンパク質含有

率7.4%以下、「おぼろづき」は精米タンパク質含有率7.9％以下を高品質米出荷数量とする。

4 施設出荷に係り、高整粒米の自主検データがある場合は資料を添付する。

６．クリーン農業等の取組状況 （構成する生産者の合計値を記入）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成３０年 | 令和元年 | 令和２年 | ３カ年の合計 |
| YES!clean米取組面積　① | 　　　　　　ha | ha | ha | ha |
| 有機ＪＡＳ・特栽米・環境保全型農業等取組面積② | ha | ha | ha | ha |
| 注）②は、有機ＪＡＳ実績面積・特別栽培農産物実績面積・環境保全型農業直接支援対策実績面積の合計とし、各対象制度の取組実績面積は重複しないものとする。上記①②の面積については加工用米・新規需要米・政府備蓄米面積を含めない |

７．クリーン農業を除く病害虫防除の実施状況

|  |
| --- |
|  |

８．経営の観点（低コスト生産向けた取組状況など）に係る取組状況について

|  |
| --- |
|  |

９．品質向上についての技術的特徴及び目的達成のための努力等（具体的に記載して下さい。）

|  |
| --- |
| (1) 土質・土性、透排水性とその改善等(2) 水管理（畦補修の割合、幼穂形成期の確認、前歴及び冷害危険期の水深は何㎝かなど）　(3) 栽培技術（育苗、耕鋤、施肥、水管理、収穫、乾燥調製など）についての特徴　 |

１０．特色ある栽培の取組（具体的に記載して下さい。）

|  |
| --- |
| (1)(2) |

１１．生産グループとしての共同で行っている特徴的・先駆的な取組みの状況等

|  |
| --- |
| (1)(2) |

１２．添付書類

　（１）令和２年産米栽培履歴（構成する全生産者分）

以上

------------------------------------------------------------------------------------------

上記内容について、第58回（令和2年度）北海道優良米生産出荷共励会実施要領に基づき、一般社団法人北海道農産協会へ提出する事を認めます。

入賞発表、審査概要報告書、会報、ホームページ等で優良事例として生産者の氏名他推薦調書の内容を広報することを認めます。

令和２年　　月　　日

　　　　　　　　　　 生産者グループ名称

代表者住所

代表者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印